

「北海道地学協働アワード 2023」表彰要項

1 趣旨

地学協働は、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

また、子どもの成長を軸として、地域と学校が意見を出し合い学び合う中で、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深め、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図る「学校を核とした地域づくり」を推進し、地域の創生につなげていくことを目指しています。

本アワードは、地学協働に取り組んでいる学校のうち、地域と連携・協働体制を構築し、地域課題の解決のために生徒が多様な学習活動に取り組んでいる学校に対して、その功績をたたえるとともに、全道における地学協働のより一層の推進と活性化を図るため、北海道教育委員会教育長が表彰するものです。

2 表彰の対象

道内の公立の高等学校、中等教育学校（後期課程）、特別支援学校（高等部）

3 表彰の規準

各学校における学校教育目標やスクールミッション達成のため、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える優れた地学協働体制を構築している学校を表彰します。

4 表彰の種類

グランプリ（最優秀賞）1校、準グランプリ（優秀賞）1校、特別賞4校程度を表彰します。特別賞については、地域の特色を生かしたユニークな取組等について表彰します。

5 エントリーの方法

表彰の基準に該当すると認められる学校については、提出書類を添えて、令和5年12月1日（金）までに、北海道教育委員会あて提出してください。

6 提出書類

以下の書類等を作成し、電子データの提出をお願いします。

また、それぞれ「エントリーシート」に、必要事項や説明を記載してください。

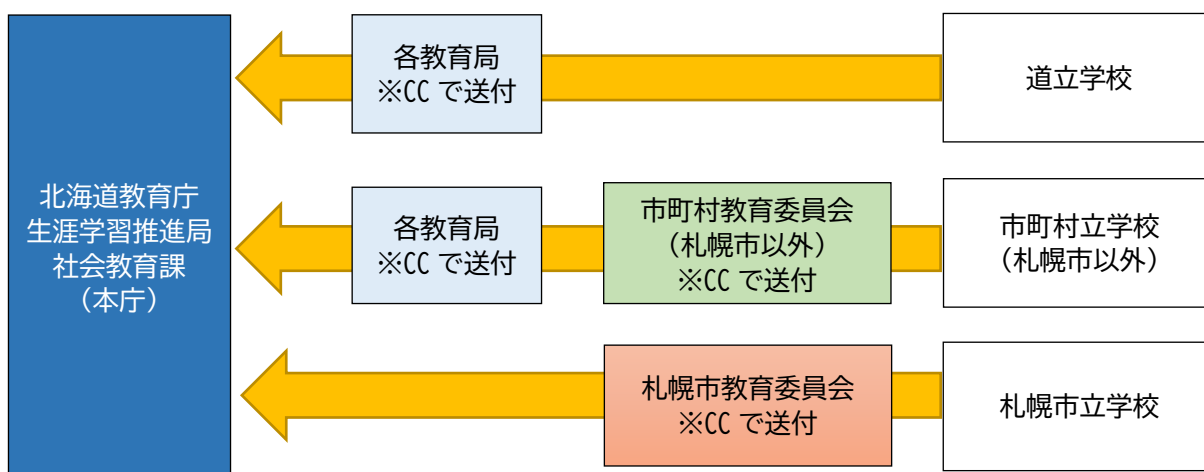
	書類等	内 容	ファイル
①	エントリーシート	・学校の情報、学校の取組内容について記載してください。	添付の Word
②	スライド	・パワーポイントを用いて、4枚で取組が分かるようスライドを作成してください。 <u>※本審査に選出された際、このスライドを用いて6分以内で発表していただきます。</u>	形式：PPT （パワーポイント） 容量：5 MB 程度
③	添付資料（写真等）	・活動の様子がわかる写真等の電子データを添付してください。（A4、1枚）	形式：JPEG、Word 等 容量：1 MB 程度

※②、③については、道教委のホームページに掲載することがありますので、人物や著作物を掲載する場合には、あらかじめ本人の了承を得るなど御留意ください。

7 提出先及び提出期限等

提出書類は、電子メールにより、本庁担当者あてに、期限までに提出してください。

【提出フロー図】（※矢印は書類提出の流れ）



【本庁担当者】

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課地学協働推進係主査 森 健太郎

E-mail : mori.kentarou@pref.hokkaido.lg.jp

8 審査の観点等

予備審査及び本審査において、エントリーシートとその他の提出資料をもとに、以下の観点や審査項目等により審査します。

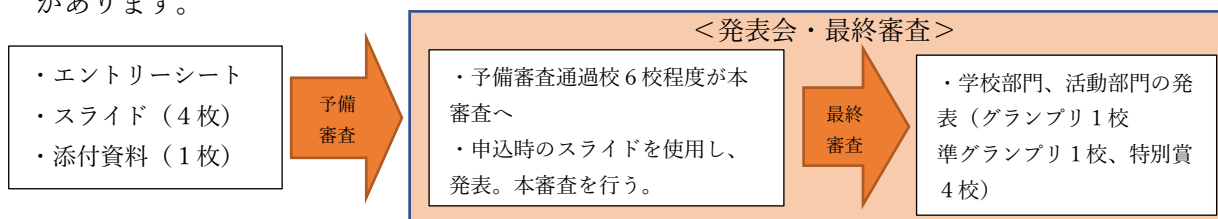
分類	観 点	審査項目
協働体制の構築	教職員の意識と校内体制	・教職員が地域との協働により、よりよい教育活動を展開しようとしているか。また、地域連携教員等がコーディネーター的役割を担い、地域との連携がスムーズに行われるなどの校内体制が整っているか。
	地域住民による教育活動への参画と協働体制	・幅広い分野で活躍している地域住民が教育活動に参画しているか。また、コーディネーター等が学校と地域のつなぎ役となって機能するなど地域の協働体制が整っているか。
協働体制構築による多様な活動	地域課題を解決するための多様な活動	・協働体制の構築により、学校や地域が地域課題を把握し、生徒が解決のための多様な活動を行っているか。
協働体制構築の成果	学校や生徒、地域の変容	・学習成果による学校や生徒の意識の変容が見られ、発展的に取組を展開しているか。
	学校教育目標やスクールミッションの達成度	・学校教育目標やスクールミッション（高校に期待される社会的役割）が、学校と地域に共有されるとともに、目標が達成されているか。

※別紙参照

9 審査方法

(1) 審査の流れ

審査方法については、以下のとおりです。必要に応じて、ヒアリングに御協力いただく場合があります。



(2) 予備審査

エントリーシート、スライド、添付資料を基に審査員による審査を行い、6校程度を選出します。

(3) 本審査

発表会当日に、予備審査で選出された学校がエントリー時のスライドを使って発表します。当日の発表の後に、審査員による最終審査を行い、グランプリ、準グランプリ、特別賞を決定し、表彰します。

(4) 本審査の方法

最終審査は、学校（教職員）、生徒等がエントリー時のスライドを使用し発表します。地学協働の体制については教職員、学習活動については、生徒が発表するようにしてください。発表時間は6分です。本審査の中で、発表後に質疑応答の時間（3分）を設けます。Zoomを使って発表を行いますので、PC機材の準備をお願いします。

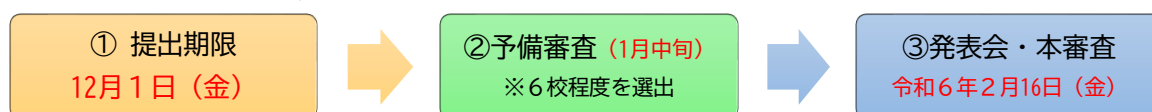
	スライド1	スライド2	スライド3	スライド4	質疑応答
内容	表紙・スクリーンミッション等	学校と地域の連携協働体制の説明	地域課題を解決するための多様な活動	地域や生徒の変容まとめ	審査員からの質問。教職員等が応答
発表者	教職員・コーディネーター等		生徒		
時間	6分				3分

(5) 審査員

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課、学校教育局高校教育課及び特別支援教育課、総務部教育・法人局総合教育推進課、北海道地学協働アドバイザー、北海道地学協働推進会議構成員、道内企業等（予定）

10 スケジュール

以下のスケジュールで、実施します。



11 発表会

令和6年2月16日に YouTube Live で「北海道地学協働アワード2023」を配信します。

発表会では、本アワードの審査結果を発表するとともに、本審査で取組や成果について提出したスライドにより発表しますので、準備をお願いします。

12 留意事項

- (1) 参加に当たって、学校運営協議会の設置の有無は問いません。
- (2) 参加に当たって、他の表彰やコンクール等の受賞歴は問いません。
- (3) 提出いただいた資料、写真、動画等については、北海道教育委員会の広報等やホームページに掲載される場合がありますので、あらかじめ御了承ください。
- (4) 入賞した際は、各報道機関から、取材等の要請がある場合がありますので、可能な限り御協力願います。